

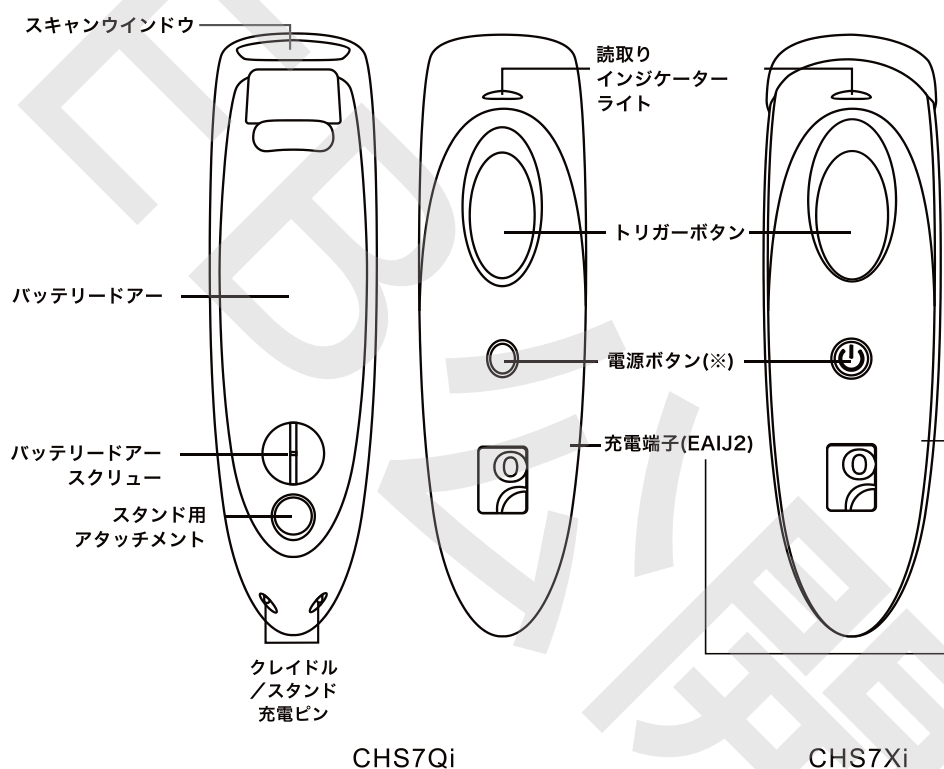
## Bluetooth Cordless Hand Scanner CHS7Qi/7Xi シリーズ クイックガイド v3.0

2017/4

本冊子は、CHS7Qi/7Xi（以下 CHS と記述）を各ホストと Bluetooth 接続するための、クイックセットアップガイドです。

- ・ HID モードでご利用になる場合には、ホストデバイスのキーボード入力方法を英数半角にして下さい。  
※ Apple iOS 4 未満の、iPad を除く iOS デバイスでは、ご利用頂く事が出来ません。
- ・ SPP または MFi モードでご利用になる場合には、SocketScan SDK を用いた専用アプリケーションの開発や、それに準じた機能を持つアプリケーションのインストールが必要となります。

### 各部の説明



- ※ 電源ボタンは、本機が HID モードで iOS デバイスに接続されている場合にのみ、ソフトウェアの表示/非表示切り替えボタンとしても機能します。

### 同梱物

- ・ 本体
- ・ ネックストラップ
- ・ AC アダプタ
- ・ USB-DC ケーブル

#### ※注

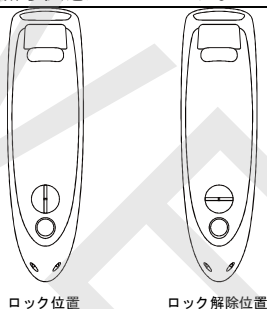
本製品は、同梱物を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

## ご利用になる前に

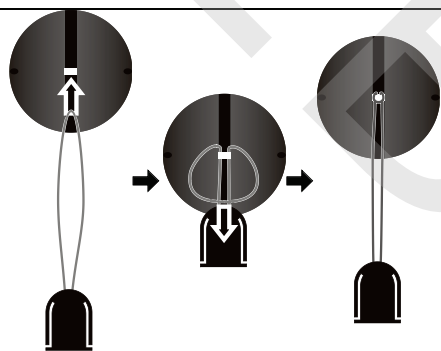
### 充電池について

CHS の充電池は、本体に取り付けられた状態で出荷されています。充電池は、本体ケースのバッテリードアを開くことで、取り出すことができますが、本体回路との間は、細い電線で接続されており、無理な力を加えると、電線の断線やショート の危険性がございます。充電池の交換や取り外し作業は、特別な事情が無い限り、お客様ご自身では決して行わないでください。

はじめて CHS を使用する際や、何らかの事情で充電池を本体から取り外した際は、CHS に付属の AC アダプタを使い、CHS を必ず満充電にしてください。これを行わなかった場合、CHS の適切な充電池残量が確認出来なくなってしまいます。なお、満充電までには約 5 時間かかり、完了すると、インジケータ LED が緑色の点灯状態になります。



ロックスクリューの位置について  
CHS を専用クレイドル/スタンドとセットでご利用になる場合は、ロックスクリューの状態が、左図の「ロック位置」にセットされている状態でご利用ください。



ストラップの取り付け  
ストラップを装着する場合は、左図の様にしてロックスクリューに取り付けて下さい。

## 主な各動作の説明

機能	説明
電源 ON/OFF	電源 ON : バッテリーライトが点灯して、低音-高音の順に音が鳴るまで、「電源ボタン」を押し続けて下さい。 電源 OFF : 高音-低音の順に音が鳴るまで、「電源ボタン」を押し続けて下さい。 また、Bluetooth での接続が途絶えたまま 5 分が経過した時、または接続が為されていて、かつ、2 時間全く利用されなかった時は、自動的に電源が OFF になります。
バーコード読取	トリガーボタンを押し、照射されるレーザーまたは赤い光(エイミングビーム)をバーコードにあてて下さい。照射時間は約 3 秒間です。読み取りが正常に完了すると、Beep 音が 1 回鳴ります。

## LED ステータス

ステータス	LED 色	LED 状態	説明
Bluetooth	青	1 秒に 1 回点滅	Bluetooth 機器と未接続
		3 秒に 1 回点滅	Bluetooth 機器と接続中
バーコードスキャン	緑	1 秒点灯	ホストへのバーコードデータ送信が成功
バッテリー	赤	1 秒に 1 回点滅	バッテリー残量が 20% 以下
		点灯	AC アダプタから充電中
	緑	点灯	AC アダプタを接続していて、満充電状態

## Beep 音

Beep 音	説明
2 回の Beep (低音-高音)	電源 ON
2 回の Beep (高音-低音)	電源 OFF
1 回の Beep	相手側機器と接続され、スキャンが可能な状態になった
1 回の Beep (低音)	iOS HID モードのみ：キーボードトグルが行われた
2 回の Beep	相手側機器との接続が途切れた
1 Beep と 緑の LED	バーコードスキャンと Bluetooth 機器へのデータ送信が成功した
1 回の長い Beep	相手側機器の探査に失敗し、待機状態に移行した
5 回の連続的な Beep	・内部の問題を検出して自動でリセットされた ・手動で本機の初期化を実施した

## バイブレーション

振動	説明
振動あり	・電源を ON にした時 ・バーコード読取時

## 接続の手順

CHS では、接続する相手やご利用の方法毎に、それぞれ次の様な動作モードに設定する事が出来る様になっています：

接続する機器	動作モード	説明
iOS (iPhone, iPad, iPod touch 等) ※iOS 4.x 以降	HID モード (出荷時設定)	CHS で読み取ったバーコードのデータをあたかも、キーボードから入力されたかのように、iOS デバイス側のアプリに送る事が出来ます。キーボード入力が行える、全てのアプリに対してご利用頂けます。
	MFi モード	CHS または DuraScan と連携するための機能を持つ、特別なアプリでのみご利用頂けるモードです。
Android ※全ての Android デバイスが、右に挙げる動作モードをサポートしているとは限りません。	HID モード	CHS で読み取ったバーコードのデータをあたかも、キーボードから入力されたかのように、Android デバイス側のアプリに送る事が出来ます。キーボード入力が行える、全てのアプリに対してご利用頂けます。
	SPP モード	CHS と Android デバイス間を、Bluetooth を介した仮想シリアルポートによって接続するためのモードです。 CHS または DuraScan と連携するための機能を持つ特別なアプリ、またはシリアルポートを開く事が出来るアプリでご利用頂けます。
Windows	HID モード	CHS で読み取ったバーコードのデータをあたかも、キーボードから入力されたかのように、Windows 側のアプリケーションソフトウェアに送る事が出来ます。キーボード入力が行える、全てのアプリに対してご利用頂けます。
	SPP モード	CHS と Windows 間を、Bluetooth を介した仮想シリアルポートによって接続するためのモードです。 CHS または DuraScan と連携するための機能を持つ特別なアプリ、またはシリアルポートを開く事が出来るアプリでご利用頂けます。

### \*\*\*重要\*\*\*

- ※ 以下の解説はそれぞれ、iOS 10.x, Android 5.x, Windows 10 をベースに記述させて頂いております。
- ※ Android デバイスは、機器の製造元やモデル、OS のバージョンなどによって、
- ※ 予め、12 ページに掲載された、工場出荷状態への初期化設定コードを読み取らせて、CHS の初期化を行っておくことをお勧めします。
- ※ CHS は、複数の相手側機器の情報を同時に記憶する事が出来ません。もし、既にペアリングが為されている CHS を他の機器とペアリングし直してご利用になる場合は、必ず、CHS のペアリングリセットまたは工場出荷時状態への初期化と、元々ペアリングが為されていた相手側機器に残されている CHS の情報の削除を行ってください。

## HID モード(出荷時設定)

CHS を相手側機器に、Bluetooth キーボードとして認識させるためのモードです。デバイス毎の接続の手順は、次の通りです：

- ※ 予め、巻末の設定コードを読み取らせて、CHS の初期化を行っておくことをお勧めします。
- ※ CHS の HID モードは、英語配列のキーボード(その他、設定の変更により、フランス語、ドイツ語、スペイン語のキーボード配列のエミュレーションモードに切り替える事が出来ます)の動作をエミュレートするように設計されております。そのため、日本語配列のキーボードによって構成された環境下では、一部の文字が、意図しない他の文字に置き換えられてしまう事がございます。
- ※ 日本語混じりの QR コードを読み取ると、日本語部分の文字が文字化けします。

### iOS デバイス

1. CHS の電源を ON にします。
2. CHS に、次の設定コードを読み取らせませす。



3. iOS デバイスの[設定]-[Bluetooth]を開きます。もし iOS 側の Bluetooth がオフになっている場合はオンに切り替えます。
4. “その他のデバイス”一覧に、“Socket 7Xi [xxxxxxx]”(xxxxxxx 部分は、CHS 毎に一意的な文字列が入ります)という名前のデバイスが現れたら、それらの名前をタップします。  
ペアリングが成功するとタップした CHS の名前が、“自分のデバイス”一覧に追加され、自動的に、接続状態が“接続済み”に切り替わり、更に CHS から Beep が 1 回鳴ります。

### Bluetooth 接続した状態で画面上のソフトウェアキーボードを使用するには

1. CHS が、iOS デバイスと接続されていて、かつ、文字入力カーソルが点滅している状態にします。
2. マウスのボタンをダブルクリックする要領で、CHS の電源ボタンを 2 回押します。
3. ソフトウェアキーボードの表示/非表示が切り替わります。

### Android デバイス

- ※ Android デバイスによっては、この HID モードをご利用いただけない場合がございます。
- 1. CHS の電源ボタンを押して、電源を ON にします。
- 2. CHS に、次の設定コードを読み取らせませす。

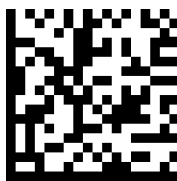


3. Android デバイスの[設定]-[Bluetooth]を開きます。もし Bluetooth がオフになっている場合はオンに切り替えます。
4. 使用可能なデバイスの一覧を更新して、周囲にある Bluetooth デバイスの探査を行います。
5. “Socket 7Xi[xxxxxxx]” (xxxxxxx 部分は、CHS 毎に一意的な文字列が入ります)という名前のデバイスが現れたら、それらの名前をタップします。  
ペアリングが成功するとタップした CHS の名前が、ペアリングされたデバイスの一覧に追加され、更に CHS から Beep が 1 回鳴ります。

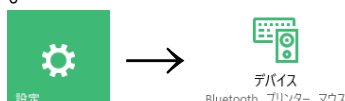
## Windows

※ Windows PC に、Bluetooth Ver1.2 以降の通信機能が搭載、または増設されている必要があります。

1. CHS の電源ボタンを押して、電源を ON にします。
2. CHS に、次の設定コードを読み取らせます。

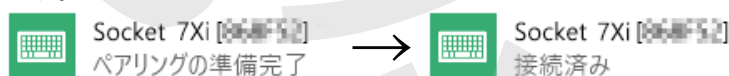


3. Windows の[スタート]から、[設定]-[デバイス]-[Bluetooth]を開きます。もし Bluetooth がオフになっている場合はオンに切り替えます。



4. しばらくすると、Bluetooth デバイスの一覧の中に、“Socket 7Xi[xxxxxx]” (xxxxxx 部分は、CHS 毎に一意的な文字列が入ります) という名前のデバイスが現れます。デバイス名のすぐ下に、“ペアリングの準備完了”と表示されている事を確認したうえで、それらの名前をタップまたはクリックし、[ペアリング]をタップ/クリックします。
5. ペアリングコードの入力を求められた場合は、PC の Bluetooth 通信機能が Ver 2.1 以上の場合は「ペアリングコードを使用しない」、2.0 以下、または、ペアリングコードを使用せずに行うと、ペアリングに失敗する場合は、半角の“0000” (ゼロが 4 つ)をペアリングコードとして入力します。

ペアリングが成功すると“ペアリングの準備完了”の表示が“接続済み”に切り替わり、更に CHS から Beep が 1 回鳴ります。



## MFi モード

CHS を iOS 上で動作する専用アプリから、直接制御させるためのモードです。接続の手順は、次の通りです：

- ※ 予め、巻末の設定コードを読み取らせて、CHS の初期化を行っておくことをお勧めします。
  - ※ このモードをご利用頂くためには、専用のアプリを別途インストールして頂く必要があります。
  - ※ 動作の確認用として、ScannerSettings, Socket ScannerPad などの無料のアプリが、App Store よりご購入頂けます。
1. CHS の電源を ON にします。
  2. CHS に、次の設定コードを読み取らせます。



3. iOS デバイスの[設定]-[Bluetooth]を開きます。もし iOS 側の Bluetooth がオフになっている場合はオンに切り替えます。
4. “その他のデバイス”一覧に、“Socket 7Xi[xxxxxx]” (xxxxxx 部分は、CHS 毎に一意的な文字列が入ります) という名前のデバイスが現れたら、それらの名前をタップします。  
ペアリングが成功するとタップした CHS の名前が、“自分のデバイス”一覧に追加され、自動的に、接続状態が“接続済み”に切り替わります。(HID の場合と異なり、CHS からの Beep は鳴りません)

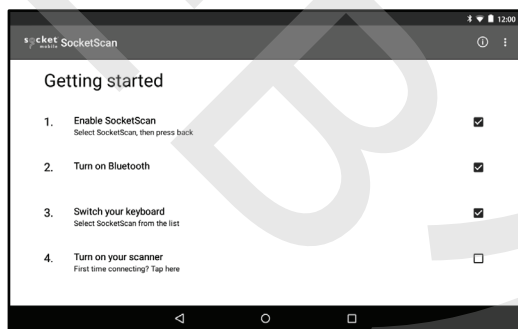
## Android SPP モード

準備：“SocketScan 10”、または CHS と連携する機能を持つサードベンダー製のアプリを「Google Play ストア (Android マーケット)」からインストールしておいてください。なお、以下の手順は、“SocketScan 10”をご利用になる場合の設定手順となります。サードベンダー製アプリをご利用になる場合の手順につきましては、それぞれのアプリのメーカーにご相談ください。またたとえば、Android デバイス側の[設定]や、その中での選択肢などのような、以下の手順に書かれた個々の名称は、各々の Android デバイス毎に異なりますので、その点もご注意ください。

※ 予め、巻末の設定コードを読み取らせて、CHS の初期化を行っておくことをお勧めします。

※ Android デバイスによっては、このモードをご利用いただけない場合がございます。

1. CHS の電源ボタンを押して、電源を ON にします。
2. SocketScan 10 を起動します。
3. “Getting started”という画面(下図)が表示されますので、1~4 の各手順の右端に表示されているチェックボックスを順にタップして行きます。(既にチェックマークが入っている項目は、飛ばしていただいてかまいません)



“1. Enabling SocketScan”をタップすると、Android の「言語と入力」設定が開きますので、その中の、“SocketScan”と書かれた「入力方法」をオンにします。オンに切り替えたら、Android の「戻る」ボタンをタップして、SocketScan の画面に戻ります。

“2. Turn on Bluetooth”をタップすると、Android の Bluetooth 機能のオン/オフを切り替えることができます。もしオフになっている場合は、これをタップしてオンにします。

“3. Switch your keyboard”をタップすると、現在の、キーボード入力モードを切り替えることができます。SocketScan をご利用になる場合は、SocketScan を選択します。

“4. Turn on your scanner”をタップすると、CHS とのペアリングを行うことができます。

4. 3.の手順で、“4. Turn on your scanner”をタップすると、画面に、[BLUETOOTH]並びに[ON SCREEN]と書かれた 2 つのボタンと設定コードが表示されます。CHS を SPP モードに切り替えるために、表示されている設定コードを読み取らせるか、または、画面に表示されたコードが小さすぎる、あるいは画面保護シートなどが貼られていて読み取れない場合は、次の設定コードを読み取らせます。



以降の手順は、画面のコードを読み取らせる場合と、上のコードを読み取らせる場合とで、それぞれ異なります。

前ページのコードを読み取らせた場合	画面に表示されたコードを読み取らせた場合
① Androidの「戻る」ボタン、または「Home」ボタンを押して、SocketScan 10を一旦終了します。	① [ON SCREEN]と書かれたボタンをタップします。
② Androidの「設定」を起動して、「Bluetooth」に関する設定画面に切り替えます。	② [2D SCANNER]と書かれたボタンをタップします。
③ 「使用可能なデバイス」として、“Socket 7Xi[xxxxxx]”が表示されます(xxxxxx部分は、CHS毎に一意の文字列が入ります)ので、デバイス名をタップして、ペアリングを行います。	③ 画面上部に表示される設定コードをCHSで読み取ります。しばらくすると、Androidの通知バーに、Bluetoothデバイスのペアリング要求の通知が現れますので、ペアリングを受け入れることで、ペアリングが完了します。「戻る」ボタンを数回押して、SocketScan 10を終了してください。
④ SocketScan 10を開き直します。	
⑤ “4. Turn on your scanner”をタップして、更に、[BLUETOOTH]と書かれたボタンをタップします。	
⑥ しばらくすると、画面中央に、③でペアリングしたCHSの名前が表示されますので、これをタップします。	
⑦ 画面上に“Pairing complete. The scanner will connect to your mobile device and confirm with a series of beeps.”と表示され、CHSから、数回Beep音が聞こえれば、作業は完了です。「戻る」ボタンを数回押して、SocketScan 10を終了してください。	

## Windows SPP モード

準備：“SocketScan 10”、またはCHSと連携する機能や、COMポートをオープンすることが出来る機能を持つサードベンダー製のアプリケーションソフトウェアをインストールしておいてください。なお、以下の手順は、“SocketScan 10”をご利用になる場合の設定手順となります。サードベンダー製アプリケーションソフトウェアをご利用になる場合の手順につきましては、それぞれのアプリケーションソフトウェアのメーカーにご相談ください。

- ※ 予め、巻末の設定コードを読み取らせて、CHSの初期化を行っておくことをお勧めします。
- ※ SocketScan 10は、SPPモードで動作するCHSをあたかも、HIDで接続されているかのようにご利用頂けるようにするための、常駐型のソフトウェアです。このソフトウェアをご利用頂くことで得られる結果は、前述の、WindowsでのHID接続での結果と、概ね同じ物となります。特別なご事情(日本語混じり二次元コードの読み取り、SocketScan 10が持つ、CHS本体の諸設定の変更機能の利用等)がない限り、HIDモードでのご利用をお勧め致します。
- ※ SocketScan 10 for Windowsは、次のURLからダウンロードしてください。

<https://www.socketmobile.com/ja/support/downloads/chs-download/series-7>

SocketScan 10をインストールした場合は、念のため、Windowsを一旦再起動しておいてください。

SocketScan 10 で CHS がご利用頂ける様にするためには、SocketScan 10 と同時にインストールされる、Socket EZPair ユーティリティを利用します。EZPair による設定の手順は、Bluetooth 機器としてのペアリング作業はご自身で事前に行っておき、SocketScan 10 との紐付けのみを EZPair で行う方法と、ペアリングから紐付けまで、EZPair を使って、全ての作業を行う方法の 2 つに大別されます。これらはそれぞれ、次の様な場合に使い分けてください：

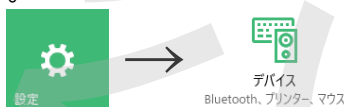
- ・ 紐付けのみを EZPair で行わなければならないケースの例  
ご利用になる PC に搭載、またはインストールされている Bluetooth プロトコルスタックが、マイクロソフト製、ブロードコム製、または東芝製『以外』である場合や、EZPair でのペアリングに失敗してしまう場合、そして画面に表示されたコードが、何らかの理由で読み取れなかった場合など
- ・ 全ての作業を EZPair で行える例  
ご利用になる PC に搭載、またはインストールされている Bluetooth プロトコルスタックが、マイクロソフト製、ブロードコム製、または東芝製である場合

### 紐付けのみを EZPair で行う(全ての CHS で行えます)

1. CHS の電源ボタンを押して、電源を ON にします。
2. CHS に、次の設定コードを読み取らせませす。

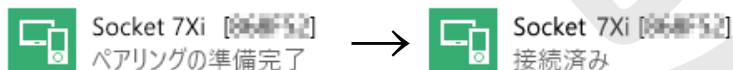



3. Windows の[スタート]から、[設定]-[デバイス]-[Bluetooth]を開きます。もし Bluetooth がオフになっている場合はオンに切り替えます。



4. しばらくすると、Bluetooth デバイスの一覧の中に、“Socket 7Xi[xxxxxx]” (xxxxxx 部分は、CHS 毎に一意的な文字列が入ります)という名前のデバイスが現れます。デバイス名のすぐ下に、“ペアリングの準備完了”と表示されている事を確認したうえで、それらの名前をタップまたはクリックし、[ペアリング]をタップ/クリックします。
5. ペアリングコードの入力を求められた場合は、PC の Bluetooth 通信機能が Ver 2.1 以上の場合は「ペアリングコードを使用しない」、2.0 以下、または、ペアリングコードを使用せずに行うと、ペアリングに失敗する場合は、半角の”0000” (ゼロが 4 つ)をペアリングコードとして入力します。

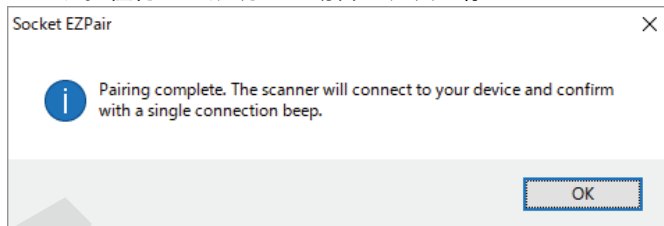
ペアリングが成功すると”ペアリングの準備完了”の表示が”接続済み”に切り替わり、更に CHS から Beep が 1 回鳴ります。




6. Bluetooth 設定画面を閉じ、デスクトップ表示に切り替えます。
7. タスクバー右端のシステムトレイに、既に SocketScan 10 のアイコン(  )が存在する場合は、そのアイコンを右クリック/ロングタップして、ポップアップメニューの中から[Socket EZPair...]を起動します。 またもし、アイコンが存在しない場合は、Windows の[スタート]から、[Socket Mobile]-[SocketScan 10]を起動してから同じく、ポップアップメニューの中の[Socket EZPair...]を起動します。
8. [Socket EZPair Choose Method]ダイアログが表示されますので、[Bluetooth]と書かれたボタンをクリック/タップします。



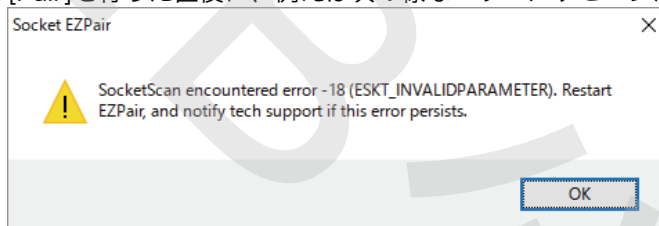
9. [Choose Scanner]ダイアログが表示されます。1～5の手順でペアリングを行った CHS の名前が、ダイアログ下部の枠の中に表示されている場合は、その名前を選択したうえで[Pair]をクリック/タップします。紐付けに成功した場合は、次の様なメッセージが表示されます：



[OK]をクリック/タップすると、CHS から「ピッ」という音が断続的に数回鳴り、同時に、システムトレイの SocketScan 10 のアイコンが、に変化します。[Socket EZPair Choose Method]の[Done]をクリック/タップして、作業は完了となります。

- ※ [Choose Scanner]に名前が表示されていない場合は[Refresh]をクリック/タップして、表示を更新してみてください。それでもなお表示されない場合は、ペアリングに失敗しているか、または誤った方法でペアリングが為されている可能性がありますので、その場合は、CHS の初期化と Windows 側からの CHS のペアリング情報の削除を行ったうえで、もう一度はじめてやり直してください。(Windows 10 の場合、ペアリング情報の削除は、[設定]-[デバイス]-[Bluetooth]画面で、削除を行うデバイスの名前をクリック/タップして、[デバイスの削除]をクリック/タップする事で行えます)

- ※ [Pair]を行った直後に、例えば次の様なエラーメッセージが表示される場合がございます：




この様な場合は、次の様な操作をお試しく下さい：

- ① 先ず、[OK]をクリック/タップして、メッセージを閉じます。
- ② 紐付けに成功した旨のメッセージが続いて表示された場合は、更に[OK]をクリック/タップして、メッセージを閉じます。(この時点では恐らく未だ、SocketScan 10 との接続は出来ておりません。またアイコンも変化しておりません)
- ③ [Socket EZPair Choose Method]の[Done]をクリック/タップします。
- ④ システムトレイの SocketScan 10 アイコンを右クリック/ロングタップし、[SocketScan 10 Settings]を選択します。
- ⑤ [Ports]をクリック/タップします。
- ⑥ CHS の名前が書かれた COM ポートが、恐らく 2 つ表示されます。それらの内、[方向]が“着信”となっているポートの COM ポート番号を確認したうえで、[OK]をクリック/タップします。
- ⑦ [SocketScan Settings]ダイアログ中段の枠の中から、⑥で確認したポートと同じ COM ポート番号を探し、そのポートのチェックボックスにチェックマークが付けられていない場合は、ボックスをクリックして、チェックマークを付けて[OK]をクリック/タップします。
- ⑧ システムトレイの SocketScan 10 アイコンを右クリック/ロングタップし、[Exit]を選択して、SocketScan 10 を終了します。
- ⑨ CHS の電源をオフにします。
- ⑩ [スタート]から、[SocketScan 10]を起動し直します。
- ⑪ CHS の電源をオンにします。

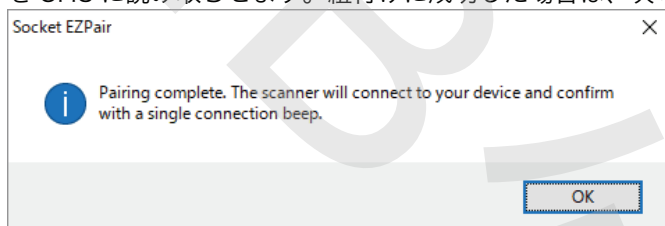
以上をお試し頂いてもなお、正しく接続されない場合は、Windows を一旦シャットダウンしてから再度起動し直してみてください。


## 全ての作業を EZPair を使って行う

1. CHS の電源ボタンを押して、電源を ON にします。
2. タスクバー右端のシステムトレイに、既に SocketScan 10 のアイコン(  )が存在する場合は、そのアイコンを右クリック/ロングタップして、ポップアップメニューの中から[Socket EZPair...]を起動します。 またもし、アイコンが存在しない場合は、Windows の[スタート]から、[Socket Mobile]-[SocketScan 10]を起動してから同じく、ポップアップメニューの中の[Socket EZPair...]を起動します。
3. [Socket EZPair Choose Method]ダイアログが表示されます。下の設定コードまたは[Choose Method]ダイアログ下方に表示されている設定コードの何れかを読み取らせてます。(この設定コードと画面に表示されている設定コードは、同じ物です)



4. [On Screen]と書かれたボタンをクリック/タップします。
5. [2D Scanner]と書かれたボタンをクリック/タップします。
6. [Socket EZPair OnScreen Pair]ダイアログが表示されます。ダイアログ上方に表示されているコードを CHS に読み取らせてます。紐付けに成功した場合は、次の様なメッセージが表示されます：



[OK]をクリック/タップすると、CHS から「ピッ」という音が断続的に数回鳴り、同時に、システムトレイの SocketScan 10 のアイコンが、 に変化します。[Socket EZPair Choose Method]の [Done]をクリック/タップして、作業は完了となります。

※ この手順を行っても、紐付け成功のメッセージが表示されなかった場合は、残念ながらその PC では、EZPair だけで全ての手順を完了させることができません。その場合は、8 ページの「紐付けのみを EZPair で行う」の手順をお試しください。

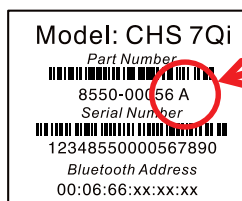
## コマンド設定コード



以下のコマンド設定コードのご利用になる際には、あらかじめ、相手側機器との間の Bluetooth 通信を切断しておいてください。



本体のレビジョンは、バッテリードアーを外すと現れる、2cm 角ほどのラベルに、次の様にして書かれています：



丸の中央のアルファベット  
1 文字がレビジョン

本体のレビジョン / CHS7Qi : G 以降, CHS7Xi : Q 以降



読み取り成功時の Beep を ON にする(デフォルト)



読み取り成功時の Beep を OFF にする



読み取り成功時のバイブレーション機能を ON にする



読み取り成功時のバイブレーション機能を OFF にする

本体のレビジョン / CHS7Qi : F 以前, CHS7Xi : P 以前



読み取り成功時の Beep / バイブレーションを ON にする  
(デフォルト)



読み取り成功時の Beep / バイブレーションを OFF にする



読み取り成功時の Beep を OFF にする



読み取り成功時のバイブレーションを OFF にする

その他、更に詳細な設定を行うための設定コードにつきましては、次の URL にございます、「Command Barcode Sheet」をご覧ください(英語)：

<https://www.socketmobile.com/ja/support/downloads/chs-download/series-7>

## ペアリングのリセット

CHS を新しい Bluetooth 機器とペアリングし直す場合、まず、次の手順に従って、それまで接続されていた機器の古いペアリング情報を消去しなければなりません：

1. CHS の電源ボタンを押して、電源を ON にします。
2. トリガーボタンを押しながら電源ボタンも押し、そのまま 2～3 秒待ちます。
3. 「ピ・ポ・ポ・」と音が聞こえ、電源がオフになります。以上でペアリングのリセットは完了です。

## 工場出荷時状態への初期化

CHS を完全に初期状態に戻す場合は、次の 2 通りの内、いずれかの手順を行ってください：

### 【CHS 本体のみを操作して初期化する方法】

1. CHS の電源ボタンを押して、電源を ON にします。
2. トリガーボタンを押したままの状態、電源ボタンを一瞬だけ押して、電源ボタンだけをすぐに放します。トリガーボタンは、そのまま 15 秒間押し続けます。
3. 「ピーポ・ポ・、ピポポポポ」と音が聞こえ、電源がオフになります。以上で初期化は完了です。

### 【初期化設定コードを利用する方法】

※ 相手側機器と CHS との Bluetooth 通信が、切断されている状態で行ってください。  
次の設定コードを CHS に読み取らせてください：



「ピーポ・ポ・、ピポポポポ」と音が聞こえ、電源がオフになります。以上で初期化は完了です。

## お問い合わせ先

株式会社アイテックス

〒111-0041 東京都台東区元浅草 1-6-13 元浅草 MN ビル 6F

TEL : 03-5246-9420 FAX : 03-5246-9421

sales@j-itecs.co.jp

## 保証期間

本製品の保証期間は、ご購入後 1 年間です。(AC アダプタ、アクセサリ類は 90 日間)  
保証内容につきましては、製品に添付しております保証書をご確認下さい。